

P-12

サガルマータ（エベレスト）登山がベースキャンプに及ぼす環境影響についてのシミュレーションの試み

下嶋 聖（東京農業大学） 島田 沢彦（東京農業大学）  
佐貫 安希子（東京農業大学） 入江 満美（東京農業大学）  
麻生 恵（東京農業大学）

エベレスト・ベースキャンプはエベレスト登山活動の利用拠点である。近年ヒマラヤ登山の大衆化を背景に登山者が集中するようになり、環境悪化が懸念されている。エベレストにおける環境問題の解決策として地域の環境保全と経済発展の両立を視点にした「持続可能な環境保管理支援システム」を構築することが必要である。具体的には、①エベレスト登山者及び周辺地域の観光客の利用実態のGISデータ化、②環境モニタリングを行い、登山活動や観光開発によって変化したヤクの利用実態と自然環境および社会環境への環境負荷の定量化、③適切な利用計画策定のため、GISを活用した環境破壊のメカニズムを把握するプログラムの作成である。一連のシステムを構築するための試みとして、本研究ではGISを活用しベースキャンプにおける環境破壊が生じるメカニズムを把握し、過去50年間に排出された有機物の量についてのシミュレーションを行った。

P-13

町田市きつねくぼ緑地における市民参加型管理運営活動と参加者の意識

薄井 美江（東京農業大学） 山内 良豊（きつねくぼ緑地愛護会）  
麻生 恵（東京農業大学）

町田市鶴川地区に位置する「きつねくぼ緑地」（1.1ha）は、町田市内で3番目の市民参加型緑地として1996年にオープンした。住宅地の中にありながら周囲には多摩丘陵の雑木林が残され、また中央部の広場では地域に密着した様々な活動が展開されている。特に、緑地の管理運営組織として「きつねくぼ緑地愛護会」が組織され、行政（町田市公園緑地課）との良好なパートナーシップの形成、地域の様々な市民グループの利用促進、地元学校の総合学習への協力、ボランティア研修生の受け入れ、多摩